

都市再生整備計画 事後評価シート  
岡崎駅東地区

令和2年3月

愛知県岡崎市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	岡崎市		地区名	岡崎駅東地区			面積	40.2ha		
交付期間	平成27年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	1,187.6百万円	国費率	0.5				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園(1号公園、2号公園、3号公園)、地域生活基盤施設(ペDESTリアンデッキ)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
新たに追加した事業	基幹事業	なし											
	提案事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	変更なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	自由通路の歩行者数	人/12h	12,294	H26	13,500	R1		12,201	△	あり なし ●	—	
	指標2	地域活動団体数	団体	1	H26	6	R1		4	△	あり なし ●	R2年4月	
指標3	地区内居住人口	人	1,676	H26	1,840	R1		2,019	○	あり なし	R2年4月		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	その他の数値指標1	岡崎駅の1日あたり平均乗客数	人/日	21,643	H26				23,716 (H30)			地区内の定住人口の増加に伴い、駅の乗客数は確実に増加傾向にある。	R3年1月
	その他の数値指標2	地区内のイベント実施回数	回/年	2	H28				12 (R1)			1号公園の開設を機に、地区内のイベントは増加傾向にある。	R2年4月
その他の数値指標3	地区内の公園をイベント等で利用した地域団体の数	団体	1	H26				4 (R1)			整備された公園をイベント等で利用する地域団体は確実に増加傾向にあり、地域交流の場として根付きつつあることが見受けられる。	R2年4月	
4)定性的な効果発現状況	公園やシビックセンターを利用したイベント等、各施設が連携した取組みが継続的に行われており、地域交流の場として根付きつつある。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	*まちづくり講演会の実施 *市街地緑化事業の実施(花のまちづくり活動)				予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった(理由)					●	まちづくり講演会などのまちづくり活動を継続的に実施していく。	
	持続的なまちづくり体制の構築	*出合いの駅おかざき推進協議会				予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった(理由)					●	地域活動団体が将来的に自立できるよう、市が段階的な支援を行う。	

## 様式2-2 地区の概要


### 岡崎駅東地区(愛知県岡崎市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
都心機能の充実と、持続可能な都市の形成を図る 目標1: 駅を中心とした都市機能の集積を推進し、都心機能の強化を図る 目標2: 持続可能なにぎわいを支える交流機能・歩行者支援機能の強化を図る 目標3: 長く愛着を持って住める安全で安心な居住環境づくりを推進し、快適で利便性の高い都心居住地の創出を図る	自由通路の歩行者数	単位: 人/12h	12,294	H26	13,500	R1	12,201	R1
	地域活動団体数	単位: 団体	1	H26	6	R1	4	R1
	地区内居住人口	単位: 人	1,676	H26	1,840	R1	2,019	R1

**1号公園**



**2号公園**



**3号公園**





■基幹事業  
・地域生活基盤施設

■基幹事業  
・公園事業  
1・2・3号公園

交流拠点

シビック  
交流拠点

**ペDESTリアンデッキ**



**まちづくり講演会**



**市街地緑化事業  
(花のまちづくり活動)**



<p>まちの課題の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業や公園事業により都市基盤整備が進み、都市環境の改善が進んだ。</li> <li>・駅前に公園や事業用借地制度を活用した複合施設が整備され、にぎわい創出に寄与する土地利用へと転換が進んでいる。</li> <li>・公園やペDESTリアンデッキの整備により、交流機能や歩行者支援機能の向上・強化が進んだ。</li> <li>・公園等の整備により地域コミュニティ形成の場が提供できたほか、まちづくり講演会や市街地緑化事業により住民参加のまちづくりが推進された。</li> </ul>
<p>今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤整備としては概成しており、今後は地域としてのまちの維持管理への関わりを強化する。</li> <li>・低未利用地の利活用を推奨するとともに、シビックセンターや駅前広場、公園等での地域イベントの開催等により、コミュニティ形成や交流機会創出を強化する。</li> <li>・まちの活力と交流の担い手を増やすため、駅前立地を活かしたさらなる定住促進(集合住宅等)を図り、合わせて商業的機能誘致を推奨する。</li> </ul>